



社会医療法人近森会

発行

2012年11月25日

ひるっば 12

Vol.317

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

健康保険組合

実績報告と今後の活動

健康保険組合
事務局長 田村 裕彦



健康保険組合のスタッフとともに。中央が筆者

ヨガ教室の風景



ていきますので良い情報があれば教えてください。

今後の活動

今後の活動としては、従来の活動は維持しつつ25年度からインフルエンザ予防接種の無料化、がんスクリーニングの費用補助、ごく僅かになると思われませんが目に見える還元として保険料率の引き下げなどを検討しています。ただ、これらは医療費の支払い

や高齢者医療への拠出金、納付金の額により実施できるかどうかが左右され、皆さんが健康であることはもとより、無駄な医療費をいかに抑えるかでその可能性は変わってきます。全国で1400以上ある健保組合の8割以上が赤字となっている現在、保険料率を引き上げる組合は多く、引き下げを検討するのはかなり稀なことであると思います。平成24年度の予算ベースでは、年間約6億1千万の収入に対し、5億9千万の支出を計上しており、予備費としては2千万程度です。組合健保のメリットとして、全てを同時に実現することは困難かもしれませんが徐々に皆さんに還元できればと考えています。 たむら ひろひこ

子宮頸がん、乳がんの検診

平成21年10月の設立から丸3年が経過、当初の2年間は法定準備金(円滑に運営するための積立金)確保のため、保健事業はあまり高額になる事業はできず、子宮頸がん、乳がんの検診を中心とした活動に終始しました。この検診の反響は大きく22年度で440名、23年度で437名、24年度は子宮頸がんのみで271名の受診がありました。検診の性質上なかなか事業所内の設備では受診しづらいこともあり、外部健診機関の検診車に来てもらう形で始めましたが、仕事を休まなくても受診できるという手軽さもあり、今ではこの形が定着しつつあります。

健康づくり教室や契約保養所

24年度から始めた健康づくり教室は、人気インストラクターと契約でき、会議室を借りて月5回位の頻度で開催していますが、これも月平均150名の利用がありました。開始当初は希望者が殺到し、混雑してご迷惑をおかけしましたが、現在では落ち着いてきて継続的な運動が出来るようになっていきますのでぜひご参加ください。運動メニューもアンケートに基づき多少入れ替えしながら飽きのこない内容にしていきたいと考えています。同じく24年から開始した契約保養所については、現在2施設契約しており、かなり格安利用できるようになっています。10月末までに「ゆとりすとパークおおとよ」で69名、「山荘榎ヶ森」で6名の利用がありました。やはり夏から秋に集中し、家族サービスや職場内での交流、心身のリフレッシュにも大いに活躍できたのではないかと思います。また、海の保養所確保が課題となっ

メディカルスタッフ・ワークウェア6 ER

モデル：三木俊史医師

ER ウエアの背中

Emergency Department



近森病院で最初にワークウェアを採用したのは、ここ救命救急センターであった。数ある診療科のなかでも、とくにアクティブな部署である救急科の三木医師が、機能性を重視して個人的に購入したワークウェアが、しだいに病院内に広まった。

ドクターカーで現場に出動することもあるため、ウェアの上にすぐ羽織れる防寒用のジャケットも備えている。

どんなときでも冷静かつ迅速、的確に判断できるよう修練し、状況に応じて他科の医師と協力して治療を行うため、コミュニケーション能力にも日々磨きをかけている。彼らはたゆまぬ努力でチームを引っ張っていく真のプロフェッショナルだといえる。

ポータブルエコ

サーフロ

さあ、あなたの血管年齢はいくつ？

近森病院循環器内科
部長 關 秀一



血圧とは、一般には動脈の血圧のこと、心臓の収縮期と拡張期の血圧をいい、それぞれ収縮期血圧（または最高血圧）、拡張期血圧（または最低血圧）と呼びます。高血圧とは、収縮期血圧140以上または拡張期血圧90以上



に保たれた状態で、ある日突然、心臓病や脳卒中などにより死に至らしめる「沈黙の殺人者」とも呼ばれます。

ところで、血圧は、上腕で測るだけのものって…思っていますか？最近、「足で測る血圧は、全身の動脈硬化を見る窓である」とテレビなどが取り上げたこともあって、足の血圧測定法が一躍、脚光を浴び始めています。つまり、足の血圧を測ることで、心筋梗塞・脳梗塞・末梢動脈疾患（おもに足の動脈硬化）が早期発見できることがわかっています。

写真のような血圧脈波検査で、血管の硬さや血管年齢、末梢動脈疾患の有無が、ベッドに寝ただけ、手足の血圧と脈波を測定するだけで簡単に検査できます。最近の日本人は、食生活の欧米化・喫煙・運動不足やストレス増加など、実年齢よりも血管年齢が高い人が増えているといわれています。

肌を美しく保つためには、毎日のスキンケアが欠かせないように、血管を若くしなやかに保つためには、毎日の正しい生活習慣が大切です。さあ、あなたの血管は年齢相応の若さを保っているのでしょうか？さっそくチェックしてみてはいかがでしょうか。

せき しゅういち

● 血管の硬さや血管年齢：

心臓 (Cardio) から足首 (Ankle) までの動脈 (Vascular) の硬さを反映する指標 (Index) である CAVI (Cardio Ankle Vascular Index) を測定することで、血管年齢がわかります。大動脈の進展性低下は、心臓病の発症や寿命を決める因子といわれています。

● CAVI 基準値	
CAVI < 8.0	正常範囲
8.0 ≤ CAVI < 9.0	境界域
9.0 ≤ CAVI	動脈硬化の疑い

● 末梢動脈疾患の有無：

下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標である ABI を測定することによって、足や手の血管が詰まりかけている末梢動脈疾患の発見に有効です。末梢動脈疾患があると、心臓や脳血管に動脈硬化を高率に合併し、5年生存率は日本人において68.8%と報告され、大腸癌の68.0%と同じくらい怖い病気です。

● ABI 基準値	
1.30 ≤ ABI	異常高値
1.0 ≤ ABI < 1.29	正常範囲
0.91 ≤ ABI ≤ 0.99	境界域
0.41 ≤ ABI < 0.90	軽～中程度の狭窄 / 閉塞
ABI ≤ 0.40	重度の狭窄 / 閉塞

現代の医療は検査主導といっても過言でないほど採血、画像、生理検査に溢れています。昔の診療では患者の身体所見が優先され、検査は異常の確認という流れでしたが、いまでは可能な検査は差し当たりしておくという検査優先の考え方のようです。これらの検査を通じて早期診断、早期加療が可能になった反面、医療費が高くなり患者が振り回されている一面があるのも事実です。

医療システムの構築により経験の有無に関わらずパソコンのキー一つ押すことで数時間後には患者の状態がつかめるようになっていきます。経験を重ねた医者ほど疾患により検査結果パターンを知っており、診断に迷うことは滅多にありません。一方、

若い医者の場合、予想しない検査項目が陽性になったり、複数の検査結果が陽性になった場合にどのように病態をとらえるか難渋することもあるようです。どの検査結果を最優先で診療を進めるかを決めるのは経験のなせる技です。

— 私の流儀 — 2

検査結果の重み付けと経験



近森病院神経内科
主任部長
やまさき まさひろ
山崎 正博

現代の医者の仕事は多くの検査結果から病態を総合的に判断することであると言われた方がいましたが正しいでしょうか。身体所見と検査結果の乖離はよくあり、経験を積まないと検査項目に重み付けができません。そのためにもたくさん患者を診て検査の重み付けを経験していくことが臨床医学だと思います。地道に自分の足元を固めていくことの大切さを述べている本に藤沢恒夫の『松明 (たいまつ) は自分の手で』(PHP 研究所) があります。

12月の歳時記 ポインセチア

高知ハビリテーリングセンター
支援員 高田 和美



ポインセチアを見ると今年もクリスマスの時期が来たな～と感じます。ポインセチアがクリスマスの代表的な花と呼ばれるようになった背景には、花の蜜腺が金色の鈴に似ていることや、欧州でクリスマスに赤を飾る風習があった事等からクリスマスに用いられるようになったそうです。色々な種類のポインセチアを見てクリスマスを感じるのも冬の醍醐味かもしれません。

たかた かずみ

絵・総務課
広報担当
公文幸子



フィジカルアセスメントとは —患者さんの身体の声を聴く—

近森病院 HCU

救急看護認定看護師 川村 佳代



的は「異常の早期発見をして、急変（事前に患者さんの変化）に気づくことができる」ということです。そのことは、患者さんを重症化させないことにもつながります。

フィジカルアセスメントから、「予測性」「準備性」のある看護にもつながります。残念なことに、さきまで元気だった患者さんが、急変してしまうこともあります。その場合は、BLSなどの「即応性」という救急看護が必要になってきます。

つまり、フィジカルアセスメントは、ERや救命救急病棟、ICUなどの救急・集中部門には必須ですが、患者さんがいる場所には、常に必要不可欠ということになります。

今後、フィジカルアセスメントで患者さんの身体の声を受け、更に、心の声までアセスメントできる看護師を目指したいと考えております。

★ご相談がありましたら、いつでもお声かけください。

近森病院へ就職し、早いもので3年目を迎えました。昨年度より、看護部主催公開講座や新人研修のフィジカルアセスメントなどの講義を担当させていただいております。

「フィジカルアセスメント」とは【患者さんの身体の声を聴く】ということです。問診をはじめ、視覚、聴覚、触覚、臭覚を用いて「何かおかしい」「いつもとちがう」という看護師の“直感”から患者さんの身体状態をアセスメントします。

フィジカルアセスメントの最大の目

かわむら かよ

リレーエッセイ

スマッシュ

近森リハビリテーション病院
2階東病棟介護福祉士
中屋 吉博



最近日が落ちるのが早くなり、朝晩がめっきり寒くなってきました。皆さんは風邪など引かず元気にお過ごしでしょうか？

私は、今年の夏から、健康の一環として中学、高校時代に部活動で行っていた「卓球」を始めました。卓球といえば、なんだか地味で暗いイメージをもたれがちな競技かと思いますが、気軽に楽しめる生涯スポーツとしても人気があり、老若男女を問わず、多くの人に楽しまれています。ただ、私の場合やりきってしまう性格が災いし、今では週に3回、4回程度、近場の公民館や学校などへお邪魔し、夜遅くまで練習を行っています。（奥さん、娘さん、家を空けることが多くてごめんなさい）

話が逸れましたが、ゆくゆくは近森会内で卓球のチームを作りたいと考えており、最近は同部署のスタッフともよく練習に行きます。この場をお借りして卓球をやりたい方がいましたら、是非私の方までご連絡ください。一緒に汗を流し、スマートパーフェクトボディを手に入れましょう！

なかや よしひろ

『Clinical Nutrition Manual』



近森 正幸

近森病院の栄養サポートチーム（以下NST）がスタートして、早いもので今年で10周年を迎えることができました。

近森病院のNSTは、管理栄養士が主体となって実践していることが特徴だといえます。というのは、高齢社会を迎え、低栄養や廃用が起りやすい骨格筋が乏しい高齢の患者さんが急増し、栄養サポートの必要な患者さんが、入院患者の半数近くを占めるようになり、業務量が膨大となったためです。

骨格筋は「栄養の貯金」で、侵襲は「突如の出費」といえます。急性期医療だからこそ貯金の乏しい高齢患者さんに突如の出費が重なり、栄養状態が急速

に悪化、骨格筋も消耗してきます。そのため、侵襲を押さえる根本治療を迅速、確実にこなすと共に、入院直後から栄養サポートとリハビリが必要となります。高齢社会という時代の要請が、管理栄養士に病棟に出て栄養学的に診ることを求めています。

来年の2月になりますが、栄養部で『CHIKAMORI Clinical Nutrition Manual（仮称）』という冊子を作ることになりました。これは管理栄養士の管理栄養士による管理栄養士のための日本で初めての栄養サポートのマニュアルになります。

当院の管理栄養士全員が執筆し、その内容もしっかりしているのに驚いています。今年入ったばかりの若い管理栄養士であっても、病棟に常駐し、患者さんと接することで、日々患者さんから学ばせていただいていることを実感します。

これまでこうしたマニュアルは、栄養を専門にしている医師が執筆しておりました。今回初めて、医療専門職として、管理栄養士ならではの視点で執筆されており、これまでの臨床栄養のあり方を変えてくれるのでは、と期待しています。

理事長・ちかもり まさゆき

第1回地域フォーラム開催報告

チームで支える医療安全

近森病院
副院長 北村 龍彦



日本医療機能評価機構・認定病院患者安全推進協議会の「平成24年度第1回地域フォーラム」が2012年11月10日土曜日に近森病院管理棟3階会議室で開催されました。東京で毎年開催される「全体フォーラム」の地域版として平成19年度から始まり、今回が12回目にあたります。

テーマは「チームで支える医療安全」と題して、運営委員会の矢野先生の

ご挨拶のあと、厚生労働省医療安全推進室長補佐の平賀紀行先生から基調講演をいただきました。その後、各職種

を代表する講師、医師の米井昭智先生、看護師の洪愛子先生、薬剤師の渡邊幸子先生、リハ部の佐藤浩二先生が、それぞれの立場から取り組みの紹介を行い、座長の橋本廸生先生、土屋文人先生の熟達した進行のもとで、パネルディスカッションを行いました。

参加者はこの日の内容を自院に持ち帰り、できるところから参考にし、自院の医療の安全と質の向上に寄与していただきたいと考えます。スタッフ及び関係者の皆さまに感謝いたします。

きたむら たつひこ



講師の先生を囲んで、前列左から3人目、洪先生、渡邊先生、平賀先生、矢野先生、土屋先生、橋本先生、佐藤先生

学会受賞報告

初期研修医 重清 知子



第109回日本消化器内視鏡学会四国支部例会で、消化器内科で経験させていただいた症例「胃全摘後の食道空調静脈瘤に対し経皮経肝静脈瘤塞栓術(PTO)及び内視鏡的硬化療法(EIS)を施行した一例」を発表させていただきました。

栄枝先生、高松先生をはじめ、多くの先生方、夜遅くまでご指導ありがとうございました。優秀演題賞の表彰もいただき、今後もこの経験をもとに研修に励みたいと思います。

しげきよ ともこ

お知らせ 医療従事者対象

◆高知中央医療圏脳卒中地域連携パス 第20回(2012年度第3回)合同会合
日時：平成24年12月16日(日)
9:00～12:00
会場：総合あんしんセンター3階大会議室
・症例検討報告会2例
・講演会「パスを用いたカイゼン活動 一見える化と現地現物」
講師 トヨタ記念病院形成外科部長 岡本泰岳先生

● 2012年11月19日 ●

本館起工式

旧本館解体工事も完了し、11月19日午後1時から本館建設地で起工式を行いました。

起工式には浜重、北村の両副院長をはじめ、川添管理部長、梶原統括看護部長、他施行業者のみなさんが参加して行われました。



鉄入れを行う近森理事長



ワイン講座 ● 5

泡の出るワイン

スパークリングワイン、シャンペン、シャンパン、シャンパーニュ……。どれも正解ですが、少し掘り下げて解説いたします。私たちは、泡の出るワインを称してスパークリングワインと呼んでいます。10数年前まで、何かのお祝い事か、クリスマス、大切な人と祝杯を挙げるのに泡の出るワインを買求めていましたが、現在は日常的に泡の出るワインは飲まれています。

シャンペン、シャンパンは、シャンパーニュから派生した造語だと考えられます。そもそもシャンパーニュ(6気圧以上)とは、フランスのシャンパーニュ地方で、その製法に沿って造られたものが、その名を名乗れるのです。フランス国内では、産地や

ジョゼ・ミッシェル・ブリュット・トラディション/生産者:ジョゼ・ミッシェル/生産地:フランス、シャンパーニュ地方/黒ぶどうの割合が高く、しっかりとした味わいで、様々な料理との相性も良くコストパフォーマンスに優れています▶

製法、ガス圧によって呼び名が変わってきます。ペティヤン(2気圧程度)、クレマン(3～3.5気圧程度)、ヴァン・ムスー(5～6気圧程度)。

また、生産される国によっても呼名は様々で、ドイツはゼクト。スペインはカヴァ。イタリアはスプマンテ。今年の師走は、泡の出るワインを用途によって使い分け、ちょっとお洒落を演出しませんか。

鬼田 知明(有限会社鬼田酒店代表)



画像のデジタル化 上

近森病院画像診断部
診療放射線技師長 高橋 宏幸



放射線科部長 森田賢先生
れ、観察者が必要とする輝度や濃度へモニター上で変化可能な画像が得られます。さらにいつでも電子カルテがある場所で観ることができ、過去のフィルムを倉庫から出さなくても簡単に画像比較ができるようになりました。撮影後直ぐに配信できるデジタル画像は、何時、どこでも、誰でも観察モニターとその環境があれば離れた場所でも診られるので、まさにチーム医療に適するものといえるのではないのでしょうか。 たかはし ひろゆき

画像診断機器において、昔と今の大きな違いは、画像がアナログからデジタルへ移行したことです。

デジタル化の利点として、まず、撮影した画像が離れた場所でも直ぐに観ることができるという点です。アナロ

グ時代は、医用フィルムに画像を記録するために一般のカメラフィルムのように現像処理が必要でした。処理温度の調整とギアの改造により、世界最速の現像処理速度を誇っていた近森病院の自動現像機もデジタル化した今では必要としません。その上、医療用フィルムに適正な輝度や濃度を得るには職人的な技術を必要としていました。

デジタル化により設定も自動化さ

ハッスル研修医

人とのつながり



初期研修医
衣笠 由祐

今年もそろそろこたつが恋しい季節になってきました。必死に(?) 国試の勉強をしていた去年の今頃からもう一年が経つと思うと、月日の流れの速さをつくづく感じます。

研修1年目も7ヵ月が経ち、振り返ると本当に色々な方々に助けられてここまでやってこれることができました。そんな中でようやくおぼろげながら自分の目指す医師像も見えてきたように思います。ただ、気が変わるかもしれないのでこの文章に書くのはやめておきます。

ところで、飲みニケーションという言葉(死語?)がありますが、巷では最近この言葉が再び脚光を浴びているようです。なんと職場の環境づくりのために飲食費の補助を支給している会社もあるとかないとか。近森病院は飲み会や運動会など、他職種と交流する機会の多い職場ですが、自分もそれらの恩恵を存分に受け、数カ月前に比べ格段に業務を行いやすくなりました。社会人になり、人とのつながりの大切さを実感しています。

ということで、これからは忘年会の季節になりますね。お酒の席をご一緒できたときは是非楽しく飲みましょう。

きぬがさ ゆうすけ

院外エッセイ

死ぬまで生きる

篠原 英一郎

●しのはら えいいちろう 1951(昭和26)年、大阪生まれ。高知大学農学部を卒業後、水産で高知県庁に勤務。土佐清水漁業指導所長、水産振興課長等歴任。趣味は旅行、ダイビング、合唱、囲碁、油絵、世界のコイン蒐集、畑仕事など



小さい頃は身体が弱く、ひどく痩せていた。自家中毒で何度も病院に運ばれたし、4歳の時には疫痢にまで罹って死にかけた。退院したとき、薄い本を持つのさえ重かったことを今でも鮮明に憶えている。そんなせいもあってか、友達と遊ぶのが苦手で、一人であることが多かった。

しかし、友人達にこんな話をするのと大笑いされてしまう。確かに客観的に見ると、「内気」、「消極的」などという言葉は今の私に最も似つかわしくないように思われる。

小学校の高学年になっても、背は高かったが痩せていた。しかし何かのきっかけでいろいろスポーツをやってみると、自分でも意外なほどにすぐ上達した。その頃から心身とも徐々に変わってきたように思う。高校のときは合唱団でオペレッタの主演を演じ、大学時代には自転車での日本一周やヒッチハイクでの西日本一周もやり遂げた。そして、いつかは世界中の国々を訪ねていろんな経験をしてみたいと思うまでになった。

高知県庁に水産技術で採用された

後、技術を身につけて青年海外協力で活躍するという夢は叶わなかったが、気持ちは持ち続けた。

子どもが片付いた後、妻に頼んで56歳で早期退職させてもらった。若い頃から使っていたフレーズではあるが、「明日死ぬかもしれない。やりたいことが山ほどある」というのが理由である。明日死ぬというのは極端ではあるが、健康に少し翳りが見え始めたのも事実である。人一倍元気なつもりでいたが、40歳を超える頃から不整脈(心房細動)が見られるようになり、その後常態化してしまった。先祖からの体質を受け継いだと思われる高血圧と高脂血症もひどくなって、毎日の薬が欠かせない。

それでも、これまでにケチケチで世界81カ国を回ったし、ダイビングや合唱など趣味も数々楽しんでいる。今年新たに朗読への挑戦も始めた。

「刺激が人を成長させる」とまだまだ信じながら、前向きに、またちょっと諦めの意味も含めて、私は「死ぬまで生きる」。

歯科講演会について

口の健康について見直す機会

安全衛生委員会健康管理センター

保健師 岡 千紘



講演中の織田英正先生

11月8日の「いい歯の日」に合わせ、「近森会グループ安全衛生委員会」では、職員の皆さんを対象とした講演会を、11月5日に開催しました。

講師に高知県歯科医師会会長の織田英正先生をお招きし、歯周病を中心に、糖尿病や喫煙など、生活習慣との関わりや、歯周病が全身に及ぼす影響などについてお話をいただきました。

講演のなかでは、ガムを使った咀嚼力のテストを体験したり、口腔内の細菌を動画で見て驚きの声が上がるといった間の1時間でした。

講演後の感想では「今すぐ歯医者へ

行きたくなった」という意見もあり、自分自身のお口の健康について、改めて見直す機会となりました。講師の織田先生、開催にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

おか ちひろ

医療従事者（職員向け）

インフルエンザ予防接種実施



今年も近森会グループ職員とその家族を対象にしたインフルエンザの予防接種を実施しています。（約2700人）

「ポストポリオ症候群対策の実際」講演会

ポリオ検診のご報告

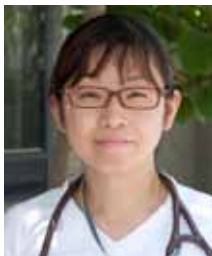
近森リハビリテーション病院

リハビリテーション科科长 和田 恵美子

沢田光恵郎先生



10月19日に藤田保健衛生大学よりリハビリテーション科医師の沢田光



恵郎先生と、理学療法士の井元大介先生を迎え、若年時にポリオに罹患した後数十年たってからポストポリオとして様々な障害を引き起こす病態や、また具体的な対策についての講演会を行いました。

翌日も藤田保健衛生大学からの助っ人を迎え、当院のスタッフの協力をえて16名のポリオ経験者の方の検診を無事終えることができました。医師診



井元大介先生

察、筋力の測定、装具診察、歩行の撮影のブースに分かれておこないましたが大きな問題なく終了し、参加したポリオ経験者の皆様からも「これからの生活で気を付ける点がよくわかった」と好評でした。できたら毎年の行事としていきたいと考えています。皆様ご協力ありがとうございました。

わだ えみこ

職員旅行

今回はニューカレドニア、インド、ハウステンボスへの職員旅行を楽しみました。



ハウステンボスにて
ニ号船上にて



ニューカレドニア●きれいな海を満喫してきました
インド●上はマリオネットを操って。下はホテルの男性と



近森会グループ●職員対象 春の芸術祭

★ 作品募集!! ★



○募集期間

12月10日(月)～1月11日(金)

○作品展示場所 管理棟3F ホール

○作品展示期間

平成25年2月8日(金)

～3月15日(金)

○作品について○

写真、絵画、書道、俳句、川柳、折り紙等、壁にかけられるもので、あまり大きいものでなければ、どのような作品でも応募できます。

※2月7日(金)15:00～16:00の間のみ、自分で展示することも可能です。

詳しくは各部署のコミュニケーション委員まで。

乞！熱烈応援

ど～んと受け止め

近森病院 6B 病棟看護師
主任 笹岡 美穂



この度、辞令をいただき身の引き締まる思いでいっぱいです。近森会に就職して20年。人生の半分は近森病院に育てていただいた、そんな思いで日々業務にあたっています。

4月の病棟編成後、混乱の続く病棟で日々、業務改善の試行錯誤を繰り返し達成感や充実感を味わい、またスタッフからの意見を反映させる難しさも味わいました。

病棟運営を円滑にするために、自分に科された役割とはなにか、と自問自答する日々ですが、師長の助言やスタッフの意見をど～んと受け止められ、聞く姿勢を持つよう日々精進していく所存です。

ささおか みほ

地味に、地道に一生懸命

近森病院6C 病棟看護師
主任 佐々木 美樹



この度辞令をいただきました。まだまだ未熟な自分が責任ある役割を果たしていけるのか、不安でいっぱいです。私がこれまで成長できたのも、部署内外を問わず多くの皆様に支えられ、温かく見守ってくださったおかげだと心から感謝しています。

自分の看護に対する理想や目標、悩みも数多くありますが、一歩ずつ確実に目標を達成できるよう努力していきたいです。これからもこの感謝の気持ちを忘れずに、病棟を支える側の一員としてスタッフと向き合い、支え合い、みんなの力が発揮できる病棟作りを行っていきたいと思います。皆様ご指導宜しくお願い致します。

ささき みき

お弁当拝見 9



野菜嫌いの息子に

施設用度課 川添 精子



毎週月曜と木曜は息子の幼稚園のお弁当の日なんです。ですので、いつもは食堂で食べているのですが、週に二回は私もお弁当の日にしていきます(お弁当の中身は息子と一緒に)。

好きなものだけを入れさえすれば残さないですし喜んでくれるので楽なんです、それでは偏ってしまいますよね……。野菜嫌いの息子に野菜も食べてもらえるように必死です(笑)

かわいいキャラ弁は作れませんがタ



コさんウインナーぐらいは入れてあげたいですね。 Simple is best ☺!!!!

かわぞえ せいこ

近森会
保育室 そろと

ありがとうの 気持ちをこめて



11月23日の勤労感謝の日を前に、保育室そろとの子どもたちより、いつも美味しいご飯を作っていただいている「エムサービスさん」、「臨床栄養部の管理栄養士さん」に手作りの感謝状とメダルをプレゼントしました。

ヨーロッパ心臓病学会 (ESC)、 アメリカ心臓病協会 (AHA) で発表

近森病院循環器内科
科長 西田 幸司



2012年8月末にドイツ、ミュンヘンで開催されたヨーロッパ心臓病学会では、近森病院でのステント治療における脂質異常症の影響をみた演題を発表し、11月上旬にはアメリカ、ロサンゼルスでのアメリカ心臓病協会ではJ-Cypher レジストリーという約10,000症例のサブ解析の発表を行いました。

この二つの学会は、循環器内科領域では世界最大、最高峰の学会で、全世界から2～3万人前後もの参加者があり、3～4日間で約4000演題（採択率40%前後）の発表が行われます。それぞれ特徴があり、ヨーロッパ心臓病学会は日常臨床における研究発表が多く、雰囲気は土佐弁でいうところの「ざっとした」感じで、一方、アメリカ心臓病協会の方は、最先端の基礎研究の発表が多く「ピットした」感じでした。

思えばこの1年間、データ集めや統計解析などを日常臨床の合間を見つけて行ってきました。症例発表と違い研究発表は孤独で地味な作業の連続で時間もかかるうえ、信じられないほどの失敗と修正の繰り返しでした。

私の性格は切れやすく（皆さん、よくご存じ!?!）、飽きっぽいのが特徴ですが、「まあ、しゃーないか。このデータが必ず世のため人のためにな

る」と、あまり深く考えずに今このときに集中して、淡々とこなせたのは驚きでした。

今回このようなチャンスを与えていただいた川井和哉先生を始め循環器ス

タッフのみなさん、データ集めに快く協力していただいた放射線技師の方々、また高知大学医学部の先生方にもご協力いただき、皆さんのご協力のおかげで近森病院から研究結果を世界に発信できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

近森病院の名前とロゴマークが世界の名だたる病院や大学に混じって提示されているのを見ると感慨深いものがありました。現在は研究成果を本当の意味で「世のため人のため」にするために英語論文を執筆中で、日々英語と格闘しています。これからも近森病院から世界へ情報を発信していけるよう、がんばります。 にしだ こうじ

Chikamori ★ Kitchen 20

鶏肉のバジル炒めレモン風味

臨床栄養部管理栄養士
主任 内山 里美



2012年もあとわずかとなり、今年最後のChikamori Kitchenメニューとして、鶏肉のバジル炒めレモン風味をご紹介します。

炒め油に使用するオリーブ油は、オレイン酸という脂肪酸が多く含まれ、コレステロールを下げる作用により、動脈硬化予防が期待できます。師走の忙しい季節ですが、おいしい手作り料理で、新年をお迎えください。

鶏肉のバジル炒めレモン風味

材料(1人分)

・鶏もも肉	90g
・玉ねぎ	1/4 個
・ぶなしめじ	1/4 パック
☆合わせ調味料	
・オリーブ油	(炒め用)
・薄口しょうゆ	大さじ 1/2
・砂糖	小さじ 1
・レモン汁	小さじ 1
・塩	適量
・乾燥バジル	お好みで



<作り方>

①玉ねぎを薄くし切りにする。しめじはいしづきを取って手で割く。

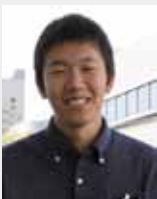
②一口大に切った鶏肉、①で切った野菜に☆の合わせ調味料を加え、味を馴染ませる。

味が馴染んだら、オリーブ油をひいたフライパンで炒める。

私の趣味

ドアから2mのアウトドア

近森リハビリテーション病院
訪問リハビリテーションちかもり
理学療法士 江口 智博



左は一坪ほどの畑に水をやる筆者。上は畑から収穫できた茄子やピーマンなどの野菜

月に数回やっていた野球やバレーボールをやめてしまい、休日はゲームや漫画等、自宅でもったり過ごす事が多く、最近は気の合う仲間と「初の」オンラインゲームをプレイ中です。すっかりインドア派になってしまった僕は「人に自慢できるような趣味なんてねえ!」と頭を抱えながら執筆しています。

そんな僕の唯一の活動的な趣味は家庭菜園です。畳1畳半ほどの小さな畑ですが、

今年はナス、ピーマン、トマトを育ててみました。土や肥料を購入し、うねを作り、苗を植える、そして毎朝の水やりが日課です。季節がら収穫も終わったので、畑を耕して肥料を追加し、うねを作り直しました。

作業中、春には1匹しか見つけられなかったミミズがわんさか顔を出したのを見て気持ち悪さを感じつつも「いい畑になったなあ」と一人頷いている今日この頃です。次は何を植えるかな。 えぐち ともひろ

夢を叶える行動派

バレーボールでのケガがきっかけ

「つねに向上心を持って夢を叶えられるように」と名づけられた「夢」^{かなえ}さんは、名前の通り着実に夢を叶えてきた。肩に力が入っている風でも、脇目もふらず一直線に突っ走る風でもないのに、サラッと道を切り開いてきているのだから、これが底力というものだろうか。

地元の倉敷市内でいちばん偏差値の高い高校を受験したのは「つねに向上心を」と応援してくれる親の期待に応えられるのならと挑戦したためだった。岡山大学に進んだのは、スポーツが大好きで中学高校と続けたバレーボールの、肝心な大会をケガで欠場したのがきっかけになった。

ヒザのケガで興味を持った人工関節について勉強できる学科が、日本国内でたまたま地元の岡山大学にあった。公務員の父と数学教師の母は、^{かなえ}さんにとっては「いつも理詰めで話をされる存在」だった。親の考え方が発想のベースになるのは自然のことなのだろうが、大学受験でも、大学院進学でも、就職の場面でも、「自分が好きなこと、情熱を傾けられること」を理詰めで考えた結果、その選択に素直に従ってきた今日がある。

大学と大学院でも取り組んだ人工関節

大学時代の大きな思い出は、学部での人工関節の研究をハワイの大学において英語で発表したことだ。人工関節の素材が、人間の細胞にどう受け入れられるかの実験や研究を進め、大学院でも「こんなに楽しいことを極められるなら」と迷わず2年間の修士の研究に打ち込んだ。

自分が興味を持って楽しく打ち込めることを続けられるのなら、それに越したことはないが、これが一生続くかどうか。修士論文を仕上げた段階での次の選択は、実験や研究の細かい作業を一生続けるということへの適性の問



◀原宿のスーパーよさこいでも踊っていたし、高知の夏のよさこいには毎年踊りに来ていて、高知のことはよく知っていた。これは本年のチーム「ちかもり」で結婚式。竹林寺での記念撮影



題だった。

そこで、会社への就職か研究職かの岐路に立ったとき、大好きなスポーツに打ち込む人たちの役に立つことで自分の喜びが見つけれられることがあるならと、探した会社が、医療用サポーターなどで有名な日本シグマックスだった。中学時代のケガで自分が守られたことも記憶にあるサポーターの開発に、今度は取り組むことにした。

親から聞かされていた「分からないことは自分で調べよ、向上心を持って」の忠言を頼りに、夢中で「がむしゃらに型紙をつくって改良を加えて」の生活を続けた。開発職は本社にしかなく、東京での暮らしは4年近くが瞬く間に過ぎた。

ぼっちりの距離、この高知の地で

親が少し年老いて、いまの暮らしも捨てがたいが、東京は余りに遠い……。もう少し岡山に近いところで、しかも開発職のような仕事は得られないものかと探し始めたとき、たまたま近森会の求人情報に出会う。岡山とは理想的な距離だし、「よさこい」で知っている高知の陽気な空気は自分に合っているようにも思えた。

平成23年1月31日付で退職し、翌2月1日付で近森会に就職することに



▲前職で自身が手掛けたシグマックスの製品を手に▲趣味はマラソン。東京マラソンでのボランティアがきっかけ。「自分もあんな感動を体験したい」と…

なった。企画課に勤めて一年半が過ぎた。海に大きく開けた大らかな高知の地で、典型的な土佐人を結婚相手に得て数カ月、お腹には赤ちゃんも授かった。フットワーク軽く、やりたいと思ったことはゼツタイに行動に移し、行きたいと思った所にはゼツタイに行く。

彼はそんな彼女を海のような大らかさで包んでくれるひとらしい。

編集室通信

近森病院OB会ができて21年になるという。昔の良き時代をハチキンパワーで過ごした面々が今年も秋の夜宴を楽しんだ。語る言葉は“近森時代が楽しかった”一色である。近森で愛された人達の今を生きる笑顔だった。今年はお世話になった野村好子さんの惜別の言葉も聞かれました。(歌)

お知らせ 医療従事者対象

◆第106回地域医療講演会

日時：平成25年1月17日(木)

19:00～20:30(仮)

会場：高知新阪急ホテル

「テーマ未定」

講師 群馬大学脳神経外科教授

好本裕平先生

2012年10月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数 19,146人

新入院患者数 882人

退院患者数 855人

近森病院

平均在院日数 13.22日

地域医療支援病院紹介率 96.36%

救急車搬入件数 422件

うち入院件数 238件

手術件数 437件

うち手術室実施 292件

→うち全身麻酔件数 168件

●平成24年10月度県外出張件数●

件数70件延べ人数132人

図書室便り (2012年10月受入分)

- ・ Miller's Anesthesia 7th ed (Premium Edition) Vol.1.2 / Ronald D. Miller (Editor) ・ PEDIATRIC CARDIAC ANESTHESIA 4th ed / Carol L.Lake (et al.)
- ・ CARDIOPULMONARY BYPASS PRINCIPLES AND PRACTICE 3rd ed / Glenn P.Gravlee(et al.)
- ・ KAPLAN'S CARDIAC ANESTHESIA The Echo Era : Expert Consult Premium Edition 6th ed / Joel A.Kaplan (Editor)
- ・ ANESTHESIA AND UNCOMMON DISEASES Expert Consult 6th ed / Lee A.Fleisher (Editor)
- ・ TNM Supplement A Commentary on Uniform Use 4thed / Ch.Wittekind(et al.)
- ・ 心臓血管外科テキスト改訂2版 / 籠野勝彦 (他編著)
- ・ 図解 基礎からわかる QC 七つ道具 新QC七つ道具もばっちり解説! / 市川享司
- ・ 図解 基礎からわかる品質管理 QCのスペシャリストが教える! / 市川享司
- ・ QC七つ道具がよ〜くわかる本 Quality Control 品質管理 : 問題を「見える化」する最適ツール! / 今里健一郎
- ・ 新QC七つ道具の使い方がよ〜くわかる本 : 言語データから情報を得るツール! / 今里健一郎
- ・ はじめて学ぶシリーズ QCの基本と活用 / 山田佳明 (編著)
- ・ はじめて学ぶシリーズ QCストーリーの基本と活用 / 山田佳明 (編著)
- ・ QCサークルのための PowerPoint 実践テクニック 私にもできる魅力的なプレゼン / 松浦忠 (他著)
- ・ ExcelとPowerPointを使った問題解決の実践 QCストーリーと活用手法の新展開 / 杉浦忠
- ・ 改善に役立つExcelによるQC手法の実践 / 内田治 (他著)

- ・ 異変を訴える患者の急変前アセスメント / 佐藤健太
- ・ アートで見る医学の歴史 / J・アンダーソン (他著)、矢野真千子 (訳)
- ・ 病院機能評価最短認定 ver.6.0 受審ガイド / 石原弘子 (他編著)
- ・ v6.0対応 病院機能評価受審領域別ハンドブック / 佐合茂樹 (他著)
- ・ 保険審査Q&A 医療機関が知らなかった50の常識 2012-13年版 / 橋本巖
- 《別冊・増刊号》
- ・ 臨床栄養別冊 JCN セレクト7 薬物-飲食物相互作用 的確な栄養療法のために / 雨海照祥 (責任編集)
- ・ 別冊 看護学雑誌 JIN SPECIAL No.94 看護研究の進め方 論文の書き方 第2版 / 早川和生 (編著)
- ・ 別冊医学のあゆみ 精神発達遅滞・自閉症の分子医学 / 岡澤均 (編集)
- ・ 精神科治療学 第27巻増刊号 気分障害の治療ガイドライン 新訂版 / 「精神科治療学」編集委員会 (編集)
- ・ HEART nursing 2012年秋季増刊 / ノートラブルで進める! IABP・PCPS・ペースメーカー・ICD 看護マスターブック / 四津良平 (監修)
- ・ INFECTION CONTROL 秋季増刊 2012 ICT 感染対策チームのための 抗菌薬まるわかりBOOK / 森澤雄司 (編集)
- ・ 臨床と微生物 39巻増刊号 微生物に関連した分子生物学的検査の基礎から応用まで / 小林芳夫 (他編集)
- 《視聴覚資料》
- ・ VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.19 No.2, No.3 / 永田 泉 (他監修)
- ・ Audio-Visual Journal of JUA Vol.18 No.4 / 日本泌尿器科学会 (監修)